



# 富田 たく



です。

事務所 高円寺南3-30-12 電話 3314-5551 FAX 3318-1492  
メール info@tomitaku.jp ツイッター http://twitter.com/tomita\_taku  
ホームページ http://www.tomitaku.jp

平成23年第3回定例議会スタート 今回も初日に一般質問！

## 放射線量の詳細調査拡充を求める！



↑放射線対策について質問する富田たく

2度目の一般質問に  
立ちました！

9月7日より、杉並区議会平成23年第3回定例議会が始まりました。  
今回は、東日本大震災・福島第一原発事故が発生してから半年の節目の議会となります。私・富田たくは前回の議会に引き続き今回も一般質問に立ち、区内の放射線量の測定さらなる拡充、区が実施した放射線量についての説明会とシンポジウムの再開、節電対策の改善などを求めました。

区民の情報提供をもと  
に区での調査を実施

杉並区はこの間、共産党の働きかけや区民の声をきき、放射線量測定を拡大してきました。

今回の私の質問では、全区的な区の調査を評価しつつ、次の段階として各施設の詳細な調査を行ない、局所的な高線量ポイントを見落とさないよう注意すること、また区民の情報提供を参考に、区の測定・対応を行なうことを求めました。

区はこの質問に対し、現在8施設の詳細調査は行なっており、その測定では高い測定結果は出ていないことから、全ての小中学校、保育園、幼稚園、公園での詳細な線量調査は行なわない考えを示しました。しかし、区民からの情報提供による高線量ポイントについては区でも測定を行ない、必要な対応を行なうことを明言いたしました。

独自測定を行い  
区の線量測定を牽引

共産党杉並区議会は、今後も区の責任での詳細調査の実現を求めるとともに、引き続き共産党独自調査を行なうことで、区の線量測定を拡大させていきたいと思えます。

# 放射線測定の説明会,シンポの再開を!

一般質問では、放射線量測定の大拡大的に、区が開催した放射線量測定についての説明会とシンポジウムの開催方法について、質問を行いました。

## 安心の押し付けではなく 不安に寄り添うことが必要

区は7月中旬に説明会とシンポジウムを計5回開催しました。私たちは、このような区民に対する取組を評価をするものです。しかし、その内容は「原発事故の前にも放射能はある」といった発言などがあり、区民からは「大丈夫です」と言いたいだけの会になっている」との疑問の声が寄せられました。こうした説明会やシンポジウムでの区への対応について、安心の押し付けではなく区民の不安に寄り添うよう、その姿勢をただしました。

## 広範な区民が参加しやすい 説明会やシンポの再開を

また、説明会は4回とも平日の昼間に開催、シンポジウムは土曜の午後の開催だったものの定員が160名のみと参加者が限られてしまっていました。区民の生の声が区に届くよう、また広範な区民が参加できるように、説明会とシンポジウムの再開を求めました。

区は現在予定している9月10日(土)の説明会以外は今のところ開催は予定していないが、今後の線量測定の結果をみて、報告会などを開く事も考えていくとの答弁を行いました。

### いきものデータ

- ◆和名：ニシキガメ
- ◆学名：Chrysemys picta
- ◆分類：脊索動物門>爬虫綱>カメ目  
>ヌマガメ科>ニシキガメ属



↑岩の上で甲羅干しをするニシキガメ

### 杉並のいきもの 紹介⑱ 『ニシキガメ』の甲羅干し

蚕糸の森公園の池に住み着いているニシキガメです。8月の夏の盛り、日差しの強い日に会いました。大きな「ミシシッピアカミミガメ」だなぁと思って眺めていたら、耳の部分が赤くないのに気付き「ニシキガメ」と判りました。

首を延ばしていたので、首筋の鮮やかな模様が目立ちます。

カナダ・北アメリカが原産で、昔から日本国内でも安価で流通しており、蚕糸の森で出会ったこのニシキガメもペットだったものが住み着いたと思われる。

こういったカメ達は公園で見つけるとなんだかほっとしますが、ペットは命が尽きる最期まで一緒に暮らしてあげるのが一番だと思えます。



日本共産党発行



日刊●月3,400円  
日曜版●月 800円

今月から日刊紙は  
3,400円ですm( \_ \_ )m

【ご購入の連絡先】

◇日本共産党 富田たく 事務所

TEL : 3314-5551

FAX : 3318-1492

### 感想やご意見を

このニュースやホームページのご感想、杉並区政についてのご意見等をお聞かせください。

mail⇒info@tomitaku.jp

FAX ⇒3318-1492